



1月



発行責任者

西川 晃二

【校長室より】

教えるということ

寒中お見舞い申し上げます。

平成25年がスタートしましたが、先月号の「あこう風」に記したように、3年生にとっては春まだ遠き状況です。センター試験受験、そしてその結果を受けての2次試験出願と緊張の日々が続いています。現役生にとってはこの1ヶ月が飛躍的に伸張する期間です。今はひたすら2次試験を迎えるその瞬間まで、自分を信じて、先生方を信じて、必死に努力してほしいと思います。周囲のものはひたすら支援に努めるだけだと思います。

さて、今月は、大村はま先生の「教えるということ」という講演集から転載する形で私の思いをお伝えしたいと思います。大村先生は、国語教員としての道しるべとも言える先生で、約半世紀にわたり一語教師として中学校で教鞭をとられてきた人です。新米国語教師の頃の私は、彼女の教えに何度となく励まされ生徒と向き合ってきたこと覚えています。人として、そして国語教員として、多少なりとも自分を見失わずにいられたのは、彼女の一言一言があったからかもしれません。

無責任な教員（大村はま国語教室第11巻国語教室の実際『教えるということ』より）

「一生懸命にやったんですけど」

ある会社に勤めたとしますね。自分が一つの仕事をもらいます。その仕事をやれません。その場合に、「やったけれどもやれませんでした」なんて言いようものなら、相手にされないんじゃないですか。いま、課長さんに何か言いつけられたとしますね、「これこれをやりなさい」と。「一生懸命やりましたが、できませんでした」と、そういうことが言えますかしら。一度でも言ったら、一人前の人間とは思われないでしょう。一生懸命やりましたけれども、というのは、だいたい非常に甘えた言葉だと思います。一生懸命にやるのは、人間一人前ならば当たり前で、怠けてやられてはたまったものではないと思います。ただうまくいかないことがあるだけの話なので、一生懸命やったからって、どうしてうまくいかないことの言い訳になるのでしょうか。

ところが先生だけは、よくまあ、言うと思いますね。「一生懸命指導しましたけれども、お宅のお子さん、どうもうまくおできになりません」私は、そういうことは、教師として言うべきではない。教師が一個の職業だというのなら言うてはいけないと思います。一人前の職業人だ。専門職だと胸を張って言うんだったら、専門職らしく生きてほしい。そしてうまくいかない責任は自分でとるべきであって、相手が勉強しないなんてそんなことを言えるものではありません。相手の責任にできる職業なんて他にはないんです。例えば、相手の会社が悪くて自分が失敗したとしても、「私は一生懸命やったんですけども、何何会社の何某が、こういうことをしたのでうまくいきませんでした」と言い訳するなんて、恥ずかしいことで、誰も聞いてくれますまい。「あなたがどんなに一生懸命やり、向こうがどんなに悪いのかしれないけれども、結果が悪かった責任はあなたにある」と……。こういうことの責任は、自分でとるほかないんじゃないですか。それが、教師だけは、「あなたの勉強が足りません」とか、お母さんと呼んでしまって、「勉強が足りませんね。もう少し家でしっかりやっていたか」と困りますね。なんていう教師がありますが、お母さんの方がよく文句を言わないと思います。でも内心ではこう思っているに違いありません。「先生にお預けしたんですよ。私はその子の母で、生活の責任者ですけども、……。先生にお預けして、先生にどうにかしてもらおうと思って、連れてきた子供なんです」——そうですよ。あんなに喜んで、指折り数えて入学したんでしょう、子供は。それが何日か経つと、もう劣等生のレッテルをはって、親が呼び出されたりするとしたら、私は、「教師の面目いすこにありや」と思わざるをえません。自分の責任を果たさないんですから。もちろん会社の仕事と人間を育てる仕事とは多少違うでしょう。でも、「違う」と見てくれるのは世間であって、教師自身が、「家で勉強が足りませんね」と自分から言うなんて、私は戒めたいと思います。どこまでも自分で指導すべきなんです。

彼女と出会って以来、生徒をけなしたり、愚痴を言うことは、天に唾する行為だと思うようになりました。わからせることができない自分の未熟さに恥じ入る毎日です。

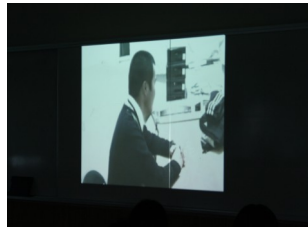
センター試験出陣式（1月18日）

～生徒149名が参加～

大学入試センター試験前日の1月18日（金）に軽スポーツ場で、センター試験「出陣式」を実施しました。センター試験を受験する生徒149名と教職員が参加しました。式では最初に校長先生から受験生全員に験担ぎに『KitKat』が配られ、激励をうけ、さらに学年主任の挨拶の後、生徒を代表して3年5組の森 颯馬君が「明日から全員が力を出しきれるよう頑張りましょう。」と決意表明をしました。その後、1年生から折鶴が贈呈され、各教科担当の先生方からの最後のアドバイスと心のこもった激励を受けた後、最後に全員で勝ち鬨を上げて出陣式を終えました。3学年以外の多くの先生方の応援もあり、生徒達は心強く感じたと思います。

出陣に向けて、1・2年生や先生方からの応援メッセージを軽スポーツ場前に掲示し、色々な形でパワーを送りました。3年生はそのメッセージを見ながら、センター試験への決意を新たにしたいと思います。

応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。



平成25年度大学入試センター試験 （1月19日、20日）

1月19日（土）、20日（日）に、本校でセンター試験が実施されました。五高生は、軽スポーツ場を控え室として使用しました。当日は、朝早く登校し、試験開始のギリギリまで最後の確認に必死に取り組む生徒の姿が見られました。

寒い2日間となりましたが、生徒たちは自信をもって、受験に挑み、無事に終えることができました。



国公立大学個別試験に向けて 〔生徒へのメッセージ〕

センター試験も終わり、特別編成授業が始まりました。

2月25日の前期試験、3月8日の中期試験、3月12日の後期試験に向けて、それぞれが頑張っているものと思います。試験会場では一人ひとりが立ち向かうわけですが、そこにたどり着くために必要である様々な力（五島高校に集う全員の力）を信じて受験してもらいたいと思っています。

すでに進路が決まっている人も、全く違う進路を歩もうとする人も、互いに意識を高めあい、次の目標を定めて、自己の成長に役立てましょう。

中地区学習交流会（1月9日、10日） ～中地区の生徒が一堂に会する～



1月9日（土）、10日（日）の2日間、中地区の難関大学を志望する高校2年生を対象に、島原高校を会場に学習交流合宿が開催されました。中地区6校から総勢130名が参加し、文系難関・理系難関・東大京大の3講座に分かれ国英数3教科の講義を受けました。本校からは17名の生徒が参加しましたが、レベルの高い講義や他校の生徒との情報交換会を通して、とても良い刺激を受けたようです。



【生徒感想（抜粋）】

- ・今回の講義を通して、様々な視点からの答案作成や、語彙力の大切さ、文章読解力の高め方などを教わり、レベルの高い問題にも、もっと自主的に挑戦したいという気持ちが強くなりました。他校には志望校への意志も努力も自分より遥かに高いレベルの生徒がたくさんいて、自分の甘さを実感しています。これからは、中途半端な気持ちを捨て、納得いくまで質問したり、語彙強化の時間を惜しまないなど、目標に向かってひたむきに頑張ります。
- ・これまで心のどこかで今の自分の成績に満足していた部分がありましたが、今回他校の生徒と接することで、自分の意識・取組みの低さを実感し、このままではさらに差を広げられるという焦りを抱くことができました。この不安を良い意味で心に残し、ライバルに差をつけられぬよう、そして追い越せるように、これまでの自分を改めて頑張ります。



第34回下五島地区高等学校百人一首大会（1月16日） ～8連覇を達成する～

1月16日（水）、五島高校セミナーハウスにおいて、下五島地区高等学校百人一首大会が開催されました。五島高校、五島海陽高校、五島南高校、奈留高校からそれぞれ10名程度の生徒が参加して、かるたの腕前を競い合いました。

団体戦で3試合を行った結果、五島高校が3勝を上げ、8連覇を果たすことができました。試合の後には、他の学校の生徒たちと交流する機会があり、親睦を深めました。お互いの学校の行事や授業の様子について、和気藹々と話していました。



伝統ある大会で連覇を果たすことができ、うれしく思います。今後とも応援よろしくお願いします。

薬物乱用防止教育（1月22日） ～薬物中毒の恐ろしさを知る～

1月22日（火）、本校体育館にて薬物乱用防止教室を実施しました。五島市警察署生活安全課の松本大祐様を講師として、1・2年生および3年6組の生徒を対象に講話を行っていただきました。

講話の前のDVD視聴では、薬物の恐ろしさについて学ぶことができました。内容は、軽い気持ちで薬物に手を出してしまった女性が、薬物への強い依存性や、最初は少量でよかったものが徐々に大量の薬物に頼らざるを得なくなる薬物耐性により、幻覚や幻聴などの症状に悩まされるというものでした。

また、講話では、薬物によって仕事を失ったり、家族にも悲しい思いをさせてしまうこと、中学生や高校生でも簡単に薬物が手に入る状況であることなどを都市部の例を出しながら、話していただきました。

生徒一人ひとりが、改めて薬物の恐ろしさを知り、絶対に薬物には手を出さないという強い気持ちをもったようです。



小学校への高校生助手ボランティア派遣

今年度も、五島市教育委員会と島内小学校のご協力により、小学校への高校生助手ボランティア派遣事業を実施させていただくことになりました。参加する3年生には小学生とのふれあいの中で、勤労奉仕の精神を養い、ふるさと五島のために貢献ほしいと思います。

- 1 期間：2月4日（月）～2月22日（金）
- 2 場所：福江小学校、緑丘小学校、崎山小学校
- 3 内容：読み聞かせ、給食指導、昼休みの交流、掃除補助、登下校補助、校庭整備など

校内マラソン大会（案内）

- 1 目的：①基礎体力と精神力の養成をはかる。
②自己の体力を把握し、保持増進に努める態度を養う。
- 2 日時：2月8日（金）9:30～12:20
- 3 場所：五島市多目的広場及びその周辺 男子：10km 女子：6km



地域清掃活動（案内）

- 1 目的：地域清掃を実施して奉仕の精神を養い、五島高校を支えてくれている地域の方々へ感謝する心を育てる。
- 2 日時：2月8日（金）13:20～14:50
- 3 場所：五島高校周辺



（昨年度の様子）

部活動結果報告

（1）剣道部

第28回長崎地区高等学校学年別剣道大会

【個人】高校2年女子の部

優勝 平 海幸

【個人】高校1年男子の部

優勝 田中 喜登

平成24年度長崎県下女子剣道大会

【個人】ベスト8 村山 遥貴



（2）柔道部

第34回全国高等学校柔道選手権長崎県大会

【団体】男子 ベスト8

【個人】男子 81kg級 2位 祝 貴之
女子 63kg級 3位 中野 有紀



（3）放送部

第34回九州高校放送コンテスト鹿児島大会

優良賞 ラジオ番組部門

（4）美術部

平成24年度長崎県高等学校総合文化祭美術展

優秀賞 平野 可奈子

優良賞 平野 圭一郎



（5）百人一首かるた部

第43回大宰府かるた競技大会

梅花位戦（C級）

準優勝 平川 遼子

大納言位戦（D級）

優勝 千代田 紗希

第34回下五島地区高等学校百人一首大会

【団体】優勝



鵜殿聡子先生、ありがとうございました！

1月22日（火）に鵜殿聡子先生の離任式を行いました。

鵜殿先生は、昨年9月からの約5ヶ月間、3学年の英語の指導と、進路指導部として進路事務等を担当していただきました。特に、3学年の生徒を中心に、お世話になりました。



離任式では、お別れのことばだけではなく、五島高校で勤務できたことへのお礼と、すべての人に対する感謝のことばをいただきました。鵜殿先生の謙虚な姿勢と、ポジティブな思考法は、私たちにとって学ぶべき事柄であったように思います。



今後の鵜殿聡子先生のご活躍を期待し、五島高校よりエールを送らせていただきます。